

総務部 防災安全課

1 非常備消防関係

(1) 消防団

ア 団員異動状況（平成24年3月31日現在）

分団数	団員数			定員
	入団	退団	現員	
28分団	44人	27人	529人	544人

イ 行事

- (ア) 6月19日 第7回米子市消防ポンプ操法大会（鳥取県消防学校）
 - a ポンプ車操法の部
優勝 県分団、準優勝 成実分団、第3位 淀江町第2分団
 - b 小型ポンプ操法の部
優勝 福生東分団、準優勝 車尾分団、第3位 福米東分団
- (イ) 7月17日 第57回鳥取県消防ポンプ操法大会（鳥取県消防学校）
 - a ポンプ車操法の部 県分団 第4位入賞
 - b 小型ポンプ操法の部 福生東分団 第4位入賞
- (ウ) 1月8日 米子市消防出初式（米子市文化ホール）
- (エ) 3月4日 米子市消防団・米子消防署合同消防演習（鳥取県消防学校）
- (オ) 随時 女性消防団員の防火予防広報（市内保育園・幼稚園、自治会等）

ウ 消防団員教育訓練

- (ア) 米子市主催のもの
 - a 5月15日 消防ポンプ操法研修会（西部消防局）
 - b 6月13日 米子市消防ポンプ操法大会審査員説明会（西部消防局）
 - c 8月28日 南部・箕蚊屋・淀江町ブロック救命講習・規律訓練（鳥取県消防学校）
 - d 9月11日 弓浜ブロック救命講習・放水技術競技会（鳥取県消防学校）
 - e 10月30日 機関員実施訓練（西部消防局）
- (イ) 鳥取県消防学校入校によるもの
 - a 5月15日・16日 消防団員特別教育・消防操法指導科（第34期）
 - b 8月20日 消防団員専科教育・機関科（第45期）
 - c 10月15日 消防団員専科教育・警防科（第41期）
 - d 10月30日 消防団員女性団員教育（第4期）
 - e 11月5日 消防団員基礎教育（第58期）
 - f 12月3日・4日・11日 応急手当普及員講習
 - g 2月4日 消防団員幹部教育（第34期）
 - h 2月25日・26日 応急手当指導員講習
 - i 3月12日 消防団員特別教育・消防操法科（第7期）

エ 報酬及び費用弁償

(単位：円)

階 級 区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
報酬年額	74,000	56,000	44,400	30,400	27,300	25,000	22,700
機関員加算	ポンプ自動車機関員報酬年額 13,300 可搬ポンプ機関員報酬年額 7,800						
費用弁償	出場、訓練、警戒等 1回につき 2,800						

オ 表彰等 (主なもの)

表 彰 等 の 種 類		被 表 彰 者		
		所 属	階 級	氏 名
藍 綬 褒 章		本 部	副 団 長	唐 来 明 夫
		彦 名 分 団	分 団 長	藤 原 統 一
消防庁長官表彰	永年勤続 功労章	春 日 分 団	分 団 長	長 門 衛
		加 茂 分 団	分 団 長	田 中 勝 美
		成 実 分 団	分 団 長	山 根 利 和
		車 尾 分 団	分 団 長	塚 澤 正 昭
		五 千 石 分 団	分 団 長	野 口 晴 久
日本消防協会長表彰	功績章	本 部	団 長	安 田 悟 朗
	精績章	本 部	副 団 長	由 木 勉
		五 千 石 分 団	分 団 長	野 口 晴 久
	勤続章	淀江町第2分団	副分団長	谷 田 稔
		福生西分団	副分団長	長 木 正
		車 尾 分 団	班 長	澤 田 耕 二
		和 田 分 団	団 員	大 倉 啓
鳥取県知事表彰	功労章	福生西分団	副分団長	長 木 正
		啓 成 分 団	副分団長	安 田 利 正
		車 尾 分 団	副分団長	船 場 格 朗
		福米東分団	副分団長	河 津 陽 美
	功績章	巖 分 団	副分団長	吉 田 俊 夫
		富 益 分 団	部 長	松 下 初
		富 益 分 団	部 長	足 立 康 彦
		大 篠 津 分 団	部 長	本 池 令
		福米東分団	班 長	清 水 道 博
		福米東分団	班 長	森 口 勇
		福米西分団	班 長	坂 田 浩 一
		和 田 分 団	班 長	森 脇 俊 介
		富 益 分 団	班 長	角 勝 司
福米東分団	団 員	潮 健 一		
		大 高 分 団	団 員	渡 辺 晃 彦

表彰等の種類		被表彰者		
		所属	階級	氏名
鳥取県消防協会長表彰	功績章	五千石分団	副分団長	中谷安秀
		夜見分団	副分団長	浜田恭次
		成実分団	副分団長	潮隆博
		和田分団	部長	井田秀人
		夜見分団	部長	吉岡尚
		大高分団	部長	下村賢治
		県分団	部長	養藤繁
		成実分団	部長	石井浩一
		成実分団	部長	深田誠二
		五千石分団	班長	山本和美
		崎津分団	班長	吉岡利治
		大高分団	班長	花田武
		勤続章	明道分団	分団長
	明道分団		副分団長	岩佐訓良
	和田分団		部長	林田政信
	車尾分団		部長	木下成安
	和田分団		班長	松本格
	尚徳分団		団員	江原常夫
	尚徳分団		団員	長谷川明

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修及び防火水槽の修繕を行った。

(ア) 上水道消火栓増設

(イ) 上水道消火栓改修

イ 消防団施設等整備

米子市消防団に設置している消防ホース乾燥塔（福生西分団所属）について、建て替えによる更新を行った。

ウ 消防車両等整備

(ア) 米子市消防団に配備している消防ポンプ自動車のうち、老朽化の著しい車両について、新規購入による更新を行なった。

a 更新車両

米子市消防団崎津分団に配備されている車両。

b 規格（型式） CD-I型、A-2級

2 防災関係

(1) 米子市防災訓練

鳥取県西部地震の風化防止、東日本大震災の教訓を生かし防災意識の高揚を図ることを目的とし、鳥取県

西部地震が発災した10月に住民参加型訓練を実施した。

- ア 開催日時 平成23年10月6日(木)
- イ 開催会場 河崎小学校
- ウ 参加機関 米子市、鳥取県西部広域行政管理組合消防局、米子市消防団、米子警察署、陸上自衛隊、米子市教育委員会、米子市自治連合会、河崎保育園、医療法人真誠会、米子市水道局 他多数
- エ 参加者数 約540人
- オ 実施内容 広報訓練、避難訓練、避難誘導訓練、要援護者避難訓練、初期消火訓練、負傷者救出搬送訓練、炊出訓練、情報伝達訓練、各種防災機材の展示・体験 他

(2) 防災行政用無線

保守点検を実施した。

業務委託料	5,293,575円		
委託業者	電気興業株式会社中四国支店、株式会社タイヨー通信		
点検概要	同報系	親局	2局
		遠隔制御装置	34台
		屋外拡声子局	170局
	移動系	基地局	2局
		車載型無線機	14台

(3) 自主防災組織の育成

地域住民が、それぞれの立場、役割に応じて、隣保共同の精神に基づき自主的な防災活動を行うための自主防災組織の育成に努めた。

平成23年度には新たに9団体が結成され、米子市全体で161組織となった。

ア 平成23年度新規結成組織(米子市自主防災組織結成補助金を交付した団体)

(ア) 名称 彦名4区防災会、博労町四丁目自主防災会、福市1区防災会、諏訪一区自主防災会、福生西1区防災会、五区東防災会、団地四区防災会、富益町西新田防災会、西蚊屋自主防災組織

(イ) 世帯数 985世帯

(ウ) 助成額 467,000円

イ 平成23年度自主防災組織育成補助金 交付実績

(ア) 交付件数 82件(防災訓練・講習会等 23件、防災資機材等整備 59件)

(イ) 交付合計額 2,579,000円

(4) 平成23年12月に「米子市豪雪対応マニュアル」を策定した。

3 災害関係

(1) 台風第12号(9月2日から9月4日)

ア 住宅被害

(ア) 一部破損 1棟

(イ) 床上浸水 5世帯

(ウ) 床下浸水 23世帯

イ 土木被害 急傾斜地等崩壊箇所4ヶ所

ウ 市道通行規制 20ヶ所

エ 孤立集落 1ヶ所(淀江町本宮集落)

オ 農林水産関係被害 水稻、大豆、人参、白ねぎ、ヒラメ 他

カ 避難指示

(ア) 発令時刻等 9月3日午前8時10分発令、9月4日午前6時解除

(イ) 対象区域 決壊の恐れのある野本川と佐陀川の合流地域周辺（夏梅自治会、清水ヶ丘自治会、緑ヶ丘グリーンハイツ自治会）

(ウ) 避難所 5ヶ所（大高公民館、春日公民館、米子市勤労者体育センター体育館、箕蚊屋体育館、箕蚊屋中学校体育館）

(エ) 避難対象 464世帯、約1,300人

4 災害時における協力関係

(1) 災害時応援協定関係

平成23年6月30日に国土交通省中国地方整備局と「災害時における情報交換に関する協定」を締結した。

平成23年12月21日に米子市建設業協議会と「災害時における応援業務等に関する協定」を締結した。

5 防犯対策関係

(1) 米子市防犯協議会総会

11月17日、市役所旧庁舎3階603会議室で開催した。

会 長 杵 築 俊 朗 （米子市自治連合会長）

副 会 長 藤 井 那 庶 （米子市自治連合会副会長）

〃 後 藤 巖 （米子市社会福祉協議会長）

〃 井 上 昭 （米子市学校校外指導連絡協議会長）

(2) 防犯灯設置費等補助金の交付

各自治会防犯灯の設置等について助成を行った。

ア 新設及び移設 55基 740,000円

イ 光源形式の切換 80基 560,000円

ウ 照明器具の取替 66基 330,000円

(3) 防犯灯電灯料補助金の交付

各自治会防犯灯の電灯料について助成を行った。

5,515灯 9,222,169円

(4) 米子市LED防犯灯促進事業補助金の交付

LED防犯灯の設置について助成を行った。

887基 19,952,500円

6 交通安全対策関係

(1) 交通安全運動

米子市交通安全運動推進協議会の主唱により、米子地区2011セーフティ作戦に基づく各種運動を実施した。

名称	期 間	主 な 実 施 事 業
春の全国交通安全運動	5月11日 ～5月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式（公会堂前広場） ○ 交差点での安全確認励行作戦（市内主要交差点） ○ 街頭広報（えるもーる一番街） ○ シートベルト・チャイルドシート着用ドライバー広報 大山町と合同（国道9号 大山町福尾交通観測所前） ○ 自転車マナーアップ作戦及び反射材広報（えるもーる一番街、イオン米子駅前店） ○ 飲酒運転追放広報（朝日町・角盤町周辺） ○ 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場） ○ 街頭パレード（弓浜地区）
夏の交通安全県民運動	7月13日 ～7月22日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式（公会堂前広場） ○ 交差点での安全確認励行作戦（市内主要交差点） ○ 街頭広報（えるもーる一番街） ○ 自転車マナーアップ作戦及び反射材広報（えるもーる一番街、イオン米子駅前店） ○ 飲酒運転追放広報（米子駅前周辺） ○ 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場） ○ シートベルト着用率調査（各地区）
秋の全国交通安全運動	9月21日 ～9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全ドライバー広報（内浜下水処理場前） ○ 自転車マナーアップ作戦及び反射材広報（東山公園駅、啓成小学校） ○ 飲酒運転追放広報（朝日町・角盤町周辺） ○ 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場） ○ 街頭パレード（弓浜地区）
年末の交通安全県民運動	12月13日 ～ 12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式（ふれあいの里 大会議室） ○ 交差点での安全確認励行作戦（市内主要交差点） ○ 街頭広報（えるもーる一番街） ○ 交通安全ドライバー広報（内浜下水処理場前） ○ 自転車マナーアップ作戦及び反射材広報（ホープタウン、イオン米子駅前） ○ 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場）

(2) 交通安全活動の推進

ア 米子市交通安全指導員の委嘱と活動推進

(ア) 人数 83人（平成24年3月31日現在）

(イ) 登校時における児童・園児の通行の保護、誘導。

交通安全運動（年4回）の推進。

米子がいな祭、皆生トリアスロン大会などでの交通安全確保の協力。

イ 米子市交通安全えがおの会の活動推進

市内27地区のえがおの会の活動を助成。

交通安全運動（年４回）の推進。

女性ドライバー安全運転学校、マイカー点検教室などへの参加。

7 交通災害共済関係

(1) 加入状況

区 分	加入人数(人)	加入口数(口)
一般受付	2, 5 2 5	4, 2 1 4
団体受付	8, 1 5 8	9, 1 1 3
計	1 0, 6 8 3	1 3, 3 2 7

(2) 給付状況

区 分	事故件数(人)	給付金額(円)
死 亡	0	0
療 養	4 4	1, 8 2 3, 0 0 0
計	4 4	1, 8 2 3, 0 0 0

8 水難事故防止対策関係

(1) 米子市水難防止協議会総会

6月1日、市役所本庁舎4階401会議室で開催した。

会 長 野 坂 康 夫 （米子市長）

副 会 長 杵 築 俊 朗 （米子市自治連合会長）

(2) 広報用チラシ・ポスターの配布

ア 広報用チラシを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園に人数分配布した。

イ 広報用ポスターを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園、公民館に掲示した。

(3) 皆生海岸に番号表示板を設置

海水浴シーズンにおける水難事故の救助、捜索活動の円滑化を図るため、皆生海岸に番号表示板を12箇所設置した。（7月～9月）

9 米子市防災会議

(1) 会議の開催

米子市地域防災計画の策定について協議を行った。

ア 開催期日 平成24年2月8日

イ 開催場所 議会第2会議室

10 東日本大震災に係る支援

(1) 職員派遣支援

ア 派遣人数 111名

イ 派遣期間 平成23年3月26日から平成23年11月3日まで

ウ 派遣先 宮城県石巻市、南三陸町内の避難所等

エ 支援内容 避難所運営支援、行政事務支援（保健指導、仮設住宅入居者の受付、廃棄物処理受付等）

(2) 被災者受入支援

ア 受入支援世帯 17世帯 33名

イ 支援内容 各種利用料等の減免等

水道料金、下水道利用料、保育料等、介護保険料、介護サービス利用料等、障がい者サービス利用料、検診等自己負担金、戸籍・住民票・印鑑登録証等交付手数料指定ごみ袋の提供、生活支援品の提供、市営住宅の提供

ウ 全国避難者情報システムの協力

(3) 義援金の受付 34,478,276円 (H23.3.14~H24.3.31)

1.1 原子力防災関係

(1) 平成23年12月25日に鳥取県、米子市、境港市及び中国電力㈱の4者間で「島根原子力発電所に係る鳥取県民の安全確保に関する協定」を締結した。

(2) 平成24年1月27日に中国電力㈱との安全協定に基づき島根原子力発電所の現地確認を実施した。

(3) 平成24年1月に「島根原子力発電所異常時における米子市初動体制・行動基準(暫定版)」を策定した。

(4) 平成24年2月16日に鳥取県、島根県、島根原発周辺市及び関係機関と合同で原子力防災訓練を実施した。

1.2 米子市暴力団排除条例

平成23年12月26日に平成24年4月1日を施行日とする「米子市暴力団排除条例」を制定し、平成24年2月24日に米子市と米子警察署との間で「米子市の行政事務からの暴力団等の排除に関する合意書」を締結した。